

株式会社どすこい
児童発達支援・放課後等デイサービス 支援プログラム
C-1 森もりサークル・靴下の端切れで遊ぶ

- 「一人一人にそれぞれのフツウ」
- 自分で感じ・考え・選び・決める・行動する
- 視覚的・具体的・肯定的なコミュニケーション

取組み	①健康・生活	②運動・感覚	③認知・行動	④言語・コミュニケーション	⑤人間関係・社会性	家族支援	地域支援
靴下て何？	■普段使っている靴下で、そもそも何なのかイメージしてみる。■靴下がなかったら、どうなる？など。■靴下の素材・役割・産地・製法・価格・家には何足ある？など、考えてみる。			■自分のイメージ・考えを言葉にして他者に伝える。■他者の言葉を聴く。	■靴下ハギレを提供して下さったみなさんに感謝する。		■王寺町の隣町・三郷町の特産品である靴下のハギレを使用する。■靴下を使って遊ぶ体験を通して、地域との結びつきをイメージする。■将来的には地域のお仕事の現場を訪ねる、お仕事体験する、につなげていく。
素材の感触を楽しむ		■時間を決め、素材にうもれたり、友達にかけあったりして全身で遊ぶ。■素材のあたたかさ、柔らかさを感じる。		■気持ちを開放し、感情を言葉にする。	■強く投げたり、顔に向けて投げたり、相手の嫌がることはしない等、ルールを守る。		
どんな座布団を作ろうか、座布団以外では何が作れるか考える。		■素材や見本に触れ、感触を感じる。		■何をつくりたいかイメージや作りたいものを伝える。			
制作		■自分のやりやすい向きや体の位置を探る。■指先を使って穴にハギレを通したり、ひっぱったりしながら、どれくらい力を入れるのか、どこにハギレを通すのか等を感じながら作る。		■難しい作業で自分ではできないときは人に助けを求める。■自分が好きな色を伝えたり、何をイメージして作っているか等を伝える。■お友達の作品を見て感想を伝える。	■友達が使いたい色と一緒に探しあいっこしたり、会話や物（ハギレ）をとおしてコミュニケーションをとる。■他のお友達の作品をヒントに想像し制作する。		
完成したものを試してみる		■なわとびのように跳んだり、友達と引っ張りあったりして遊ぶ。■どれくらい力を入れればいいのかを感じる。		■感想、気持ちを言葉にして伝える。	■完成したものを試して友達と遊ぶ。	■個々の頑張ったことや制作の様子等を保護者に伝える。	
片付け		■どうすれば早くハギレを集められるか道具を使う。■部屋の隅々に散らばったハギレを行ったり来たり、しゃがんだり立ったりしながら集める。		■友達と会話をしながら協力して片づける。	■ハギレを入れやすいように袋を持ってあげたり、みんなで協力して片づける。■友達の真似をして片付けの方法を試す。	■個々の頑張ったことや制作の様子等を保護者に伝える。	

